



ロタウイルス性胃腸炎

◀ **原因** ▶ ロタウイルスによって起こる胃腸炎で、患者の便の中に出てきたロタウイルスが、手やタオルなどを介して、口の中に入って感染します。ロタウイルスにより汚染された水や食物を飲食したり、おもちゃをしゃぶったりしても感染します。

毎年11月から4月までの冬に流行（ピークは1～3月頃）します。生後6カ月から2才までが好発年齢です。白色便性下痢症とか仮性コレラとも呼ばれます。潜伏期は約2日です。



◀ **症状** ▶ 水のようにサラサラした白っぽい下痢便が約**1週間**ぐらい続きます。病初期には激しい嘔吐が伴うのが普通です。咳や鼻水が見られる場合もあります。熱はあつたりなかつたりです。二度かかることがありますが、二度目は重症でないのが通常です。

◀ **治療** ▶ 便もしくはおしりの検査でロタウイルスによる下痢であるかが10分以内に診断できます。**特効薬はありません**が、吐き気止めや整腸剤・下痢止めなどを処方します。

◀ **家でのケアの仕方** ▶ 【病初期の嘔吐を伴う時期】数時間は飲ませたり食べさせたりはしないほうがよいでしょう。しかし、**ぐったりしたりしているようであれば受診**が必要です。2～6時間たって嘔気がやや治まれば、湯冷ましや麦茶・イオン飲料などをごく少量（5～30cc）から始め、嘔吐がなければ徐々に量を増やしていきましょう。

【嘔吐がおさまって下痢だけの時期】水分だけでなく、**電解質とカロリー**の補給も大切になってきます。市販のイオン飲料は電解質濃度が低いので、野菜スープやおみそ汁で電解質を補いましょう。カロリーとしてはあたたかいお粥やうどん・パンなどのでんぷん類を少しずつあげてみましょう。母乳は少しずつなら与えてかまいませんが、牛乳やミルクは控えましょう。

おしりをこまめに洗って、おむつかぶれを予防してあげましょう。

◀ **予防** ▶ 予防法はよく手を洗うことです。自分のトイレの後、こどものトイレを手伝った後、こどものオムツを替えた後、調理・配膳・食事・おやつの前等には、よく手を洗いましょう。手を洗った後、同じタオルを何回も使うことは、好ましくありません。諸外国では予防注射が開発され、実際に使用されています。